

第三回検討委員会	第四回検討委員会
<p>第1部 計画の趣旨</p> <p>1計画策定の背景 2計画の目的、性格 3計画の期間</p>	<p>第1部 計画の趣旨</p> <p>1計画策定の背景 2計画の目的、性格 3計画の期間</p>
<p>第2部 都民医療費の現状</p> <p>第1章 都民医療費の現状</p> <p>第1節 東京都の高齢化の状況</p> <p>第2節 都民医療費の動向</p> <p>1医療費総額 2一人当たり医療費</p> <p>第3節 疾病別医療費の状況</p> <p>1疾病別医療費構成の状況 疾病大分類別医療費の構成、年齢階級別に見た疾病大分類別医療費の構成(医科計)、 疾病中分類別医療費の状況</p> <p>2生活習慣病の医療費 生活習慣病の一人当たり医療費(40歳以上)、糖尿病の年齢階級別 医療費等、 腎不全の年齢階級別 医療費等、高血圧性疾患の年齢階級別 医療費等、 脳血管疾患の年齢階級別 医療費等、虚血性心疾患の年齢階級別 医療費等、 生活習慣病の区市町村別 一人当たり医療費と受療率(40歳以上)</p> <p>3新生物の医療費 新生物の疾病別 患者一人当たり医療費(全年齢)、新生物の年齢階級別 医療費等</p> <p>第4節 後発医薬品の使用状況等</p> <p>1後発医薬品の使用状況 都道府県別後発医薬品数量シェアと切替効果額、 東京都における保険者種類別の後発医薬品数量シェアと切替効果額</p> <p>2重複投薬の状況 都道府県別重複投薬(3医療機関以上)患者率、 東京都の性、年齢別重複投薬(3医療機関以上)患者率、 東京都の保険者種類別重複投薬(3医療機関以上)患者率</p> <p>3複数種類医薬品投与の状況 都道府県別複数種類医薬品投与(15剤以上)患者率 東京都の性別複数種類医薬品投与(15剤以上)患者率、 東京都の保険者種類別複数種類医薬品投与(15剤以上)患者率</p> <p>第2章 第二期医療費適正化計画の進捗状況</p> <p>第1節 住民の健康の保持の推進に関する進捗状況</p> <p>1特定健康診査の実施状況 2特定保健指導の実施状況 3メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の状況 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合、 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率</p> <p>第2節 医療の効率的な提供の推進に関する進捗状況</p>	<p>第2部 都民医療費の現状</p> <p>第1章 都民医療費の現状</p> <p>第1節 東京都の高齢化の状況</p> <p>第2節 都民医療費の動向</p> <p>1医療費総額 2一人当たり医療費</p> <p>第3節 疾病別医療費の状況</p> <p>1疾病別医療費構成の状況 疾病大分類別医療費の構成、年齢階級別に見た疾病大分類別医療費の構成(医科計)、 疾病中分類別医療費の状況</p> <p>2生活習慣病の医療費 生活習慣病の一人当たり医療費(40歳以上)、糖尿病の年齢階級別 医療費等、 腎不全の年齢階級別 医療費等、高血圧性疾患の年齢階級別 医療費等、 脳血管疾患の年齢階級別 医療費等、虚血性心疾患の年齢階級別 医療費等、 生活習慣病の区市町村別 一人当たり医療費と受療率(40歳以上)</p> <p>3新生物の医療費 新生物の疾病別 患者一人当たり医療費(全年齢)、新生物の年齢階級別 医療費等</p> <p>第4節 後発医薬品の使用状況等</p> <p>1後発医薬品の使用状況 都道府県別後発医薬品数量シェアと切替効果額、 東京都における保険者種類別の後発医薬品数量シェアと切替効果額</p> <p>2重複投薬の状況 都道府県別重複投薬(3医療機関以上)患者率、 東京都の性、年齢別重複投薬(3医療機関以上)患者率、 東京都の保険者種類別重複投薬(3医療機関以上)患者率</p> <p>3複数種類医薬品投与の状況 都道府県別複数種類医薬品投与(15剤以上)患者率 東京都の性別複数種類医薬品投与(15剤以上)患者率、 東京都の保険者種類別複数種類医薬品投与(15剤以上)患者率</p> <p>第2章 第二期医療費適正化計画の進捗状況</p> <p>第1節 住民の健康の保持の推進に関する進捗状況</p> <p>1特定健康診査の実施状況 2特定保健指導の実施状況 3メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の状況 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合、 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率</p> <p>第2節 医療の効率的な提供の推進に関する進捗状況</p>
<p>第3部 計画の基本的な考え方</p> <p>第1章 国の基本方針</p> <p>第1節 国の基本方針の考え方</p> <p>第2節 国が示す目標</p> <p>1住民の健康の保持の推進に関する目標 特定健康診査の実施率、特定保健指導の実施率、 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率、たばこ対策、予防接種、 生活習慣病等の重症化予防の推進に関する目標、その他予防・健康づくりの推進</p> <p>2医療の効率的な提供の推進に関する目標 後発医薬品の使用促進、医薬品の適正使用の推進</p> <p>第2章 東京都の計画の基本的な考え方</p> <p>第1節 国が示す目標に対する東京都の考え方</p> <p>第2節 計画における取組の方向性</p>	<p>第3部 計画の基本的な考え方</p> <p>第1章 国の基本方針</p> <p>第1節 国の基本方針の考え方</p> <p>第2節 国が示す目標</p> <p>1住民の健康の保持の推進に関する目標 特定健康診査の実施率、特定保健指導の実施率、 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率、たばこ対策、予防接種、 生活習慣病等の重症化予防の推進に関する目標、その他予防・健康づくりの推進</p> <p>2医療の効率的な提供の推進に関する目標 後発医薬品の使用促進、医薬品の適正使用の推進</p> <p>第2章 東京都の計画の基本的な考え方</p> <p>第1節 国が示す目標に対する東京都の考え方</p> <p>第2節 計画における取組の方向性</p>
<p>第4部 医療費適正化に向けた取組の推進</p> <p>第1章 住民の健康の保持の増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組</p> <p>第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組</p> <p>1健康診査及び保健指導の推進 特定健康診査及び特定保健指導の推進、 生活保護受給者の生活習慣病予防対策、 データヘルス計画の推進、 がん検診、肝炎ウイルス検診の取組</p> <p>2生活習慣病の重症化予防の推進</p> <p>3高齢期における社会生活を営むために必要な機能の維持</p> <p>4健康の保持増進に向けた一体的な支援 個人の健康づくりの実践を支援する取組、歯・口の健康づくりの取組、 児童期からの健康教育の推進、ライフステージに応じたスポーツの振興</p> <p>5たばこの健康影響対策の取組</p> <p>6予防接種の推進</p> <p>第2節 医療資源の効率的な活用に向けた取組</p> <p>1切れ目ない保健医療体制の推進 地域医療構想による病床機能の分化・連携、 がん医療の取組、脳卒中医療の取組、心血管疾患医療の取組、糖尿病医療の取組、 精神疾患医療の取組、救急医療の取組、周産期医療の取組、小児医療の取組、 在宅療養の取組</p> <p>2地域包括ケアシステムの構築に向けた取組 介護基盤の整備の促進と介護人材の確保等、 認知症対策の総合的な推進、高齢者の住まいの確保、 介護予防の推進と支え合う地域づくり</p> <p>3緊急性や受診の必要性を確認できる医療情報の提供 “ひまわり”や“t-薬局いんふお”による適切な医療機関・薬局の選択、 “医療情報ナビ”等による医療の仕組みなどに対する理解促進、 東京消防庁救急相談センターによる電話相談(＃7119)の普及啓発、 「東京都版救急受診ガイド」の利用促進</p> <p>4後発医薬品の使用促進</p> <p>5医薬品の適正使用の促進</p> <p>6レセプト点検等の充実強化</p> <p>第2章 医療費の見込み</p> <p>1都民医療費の推計 2都民医療費の推計方法の概要</p> <p>第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携</p> <p>1関係者の役割 東京都の役割、保険者等の役割、医療の担い手等の役割、区市町村の役割、 都民の役割</p> <p>2保険者協議会を通じた保険者等との連携</p> <p>第4章 計画の推進</p> <p>第1節 計画の推進</p> <p>1進捗状況の公表 2進捗状況に関する調査及び分析(暫定評価) 3実績の評価</p> <p>第2節 計画の周知</p>	<p>第4部 医療費適正化に向けた取組の推進</p> <p>第1章 住民の健康の保持増進及び医療資源の効率的な活用にに向けた取組</p> <p>第1節 生活習慣病の予防と健康の保持増進に向けた取組</p> <p>1健康診査及び保健指導の推進 特定健康診査及び特定保健指導の推進、 生活保護受給者の生活習慣病予防対策、 データヘルス計画の推進、 がん検診、肝炎ウイルス検診の取組</p> <p>2生活習慣病の重症化予防の推進</p> <p>3高齢期における社会生活を営むために必要な機能の維持</p> <p>4健康の保持増進に向けた一体的な支援 個人の健康づくりの実践を支援する取組、歯・口の健康づくりの取組、 乳幼児期・児童期からの健康づくりの推進、ライフステージに応じたスポーツの振興</p> <p>5たばこによる健康影響防止対策の取組</p> <p>6予防接種の推進</p> <p>第2節 医療資源の効率的な活用に向けた取組</p> <p>1切れ目ない保健医療体制の推進 地域医療構想による病床機能の分化・連携、 がん医療の取組、脳卒中医療の取組、心血管疾患医療の取組、糖尿病医療の取組、 精神疾患医療の取組、救急医療の取組、周産期医療の取組、小児医療の取組、 在宅療養の取組</p> <p>2地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進 介護基盤の整備の促進と介護人材の確保等、 認知症対策の総合的な推進、高齢者の住まいの確保、 介護予防の推進と支え合う地域づくり</p> <p>3緊急性や受診の必要性を確認できる医療情報の提供 “ひまわり”や“t-薬局いんふお”による適切な医療機関・薬局の選択、 “医療情報ナビ”等による医療の仕組みなどに対する理解促進、 東京消防庁救急相談センターによる電話相談(＃7119)の普及啓発、 「東京都版救急受診ガイド」の利用促進</p> <p>4後発医薬品の使用促進</p> <p>5医薬品の適正使用の推進</p> <p>6レセプト点検等の充実強化</p> <p>第2章 医療費の見込み</p> <p>1都民医療費の推計 2都民医療費の推計方法の概要</p> <p>第3章 医療費適正化の推進に向けた関係者の役割と連携</p> <p>1関係者の役割 東京都の役割、保険者等の役割、医療の担い手等の役割、区市町村の役割、 都民の役割</p> <p>2保険者協議会を通じた保険者等との連携</p> <p>第4章 計画の推進</p> <p>第1節 計画の推進</p> <p>1進捗状況の公表 2進捗状況に関する調査及び分析(暫定評価) 3実績の評価</p> <p>第2節 計画の周知</p>